

# 地域組織対策本部について



神奈川県理学療法士会

地域組織対策本部 本部長 露木昭彰

# 地域組織対策本部の役割

昨今、理学療法士の活動の場は、地域包括ケアシステムの推進、災害時対応など医療介護のみならず、多様な広がりをみせています。

それらの活動は、地域の実情に応じた対応が重要となります。

県単位ではなく、市区町村の行政、関連団体との連携を強化する必要があります。

神奈川県理学療法士会では、県内を12ブロックに分化し、各種委員会を有した地域組織対策本部を立ち上げております。



# 地域組織対策本部

## ブロック組織 (12ブロック)

- ・ブロック担当理事
- ・ブロック長
  - ・市区町村代表
  - ・災害対策エリアコーディネーター
  - ・ブロック会計

## 委員会

- ・リハビリ手帳作成委員会
- ・災害対策委員会
- ・地域包括ケアシステム  
推進委員会
- ・管理者育成委員会
- ・支部化検討委員会



# 本会活動の活性化に向けたブロックの役割

会員	<p>□ 会員向けサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域での会員ネットワークの強化 顔の見える、声の聞こえる関係づくり</li><li>・ 会員が必要とする地域の情報の共有</li><li>・ 市町村からの依頼に対する迅速な対応</li><li>・ 郡市医師会など地域の諸団体との連携強化</li><li>・ 地域での勉強会の活性化</li><li>・ 業務支援（患者情報のスムースな流れ）</li><li>・ 就労支援</li><li>・ 災害時の被災会員支援</li></ul>
県民	<p>□ 理学療法士によるサービス提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域全体で住民を支える 急性期より人生の幕引きまでのシームレスな患者対応</li><li>・ 地域包括ケアシステムでのサービス提供</li><li>・ 災害時の避難者の二次的障害予防活動</li><li>・ 安心して暮らせる生活支援（スポーツ含む）</li></ul>



二次医療圏域の「横須賀・  
三浦」から「鎌倉」を分離させて  
12ブロックとした。





神奈川県理学療法士会

# ブロック割担当表

ブロック名	市区町村	ブロック長（所属）	担当理事
横浜北部	鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区	永堀造男（横浜新緑総合病院）	鈴川
横浜西部	西区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区	最上谷 拓磨 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)	栗原
横浜南部	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区	上杉 上（横浜市立大学附属病院）	藤本
川崎北部	高津区、宮前区、多摩区、麻生区	新井 健司 ((株)かわさきハートネット)	浅田・長澤
川崎南部	川崎区、幸区、中原区	佐藤 範佳 (太田総合病院)	
相模原	緑区、中央区、南区	中田 裕 (さがみリハビリテーション病院)	池田
横須賀・三浦	横須賀市、三浦市	高橋 伸宏 (聖ヨゼフ病院)	木村
鎌倉	鎌倉市、逗子市、葉山町	黒水 俊吾 (大船中央病院)	露木
湘南東部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	石川 秀太 (湘南藤沢徳洲会病院)	久保
湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町	安藤岳彦 (介護老人保健施設めぐみの里)	松本
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	湯田健二 (海老名総合病院)	相馬・淵橋
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	前田大助 (機能訓練特化型ディサービス楽動)	宮澤



神奈川県理学療法士会

# リハビリ手帳作成委員会



- 医療、介護、福祉の各連携や、利用者（患者）のリハビリ経過の共有を目的にリハビリ手帳が開始。
- 委員会では、リハビリ手帳の普及・運用をすすめています。
- OT士会、ST士会と合同で改訂を検討中

# 災害対策委員会



神奈川県理学療法士会

## 災害と理学療法

大規模災害が発生して、避難所生活などを余儀なくされる場合、元気な高齢者でも活動量の減少により、身体機能が低下するなどの問題が発生します。

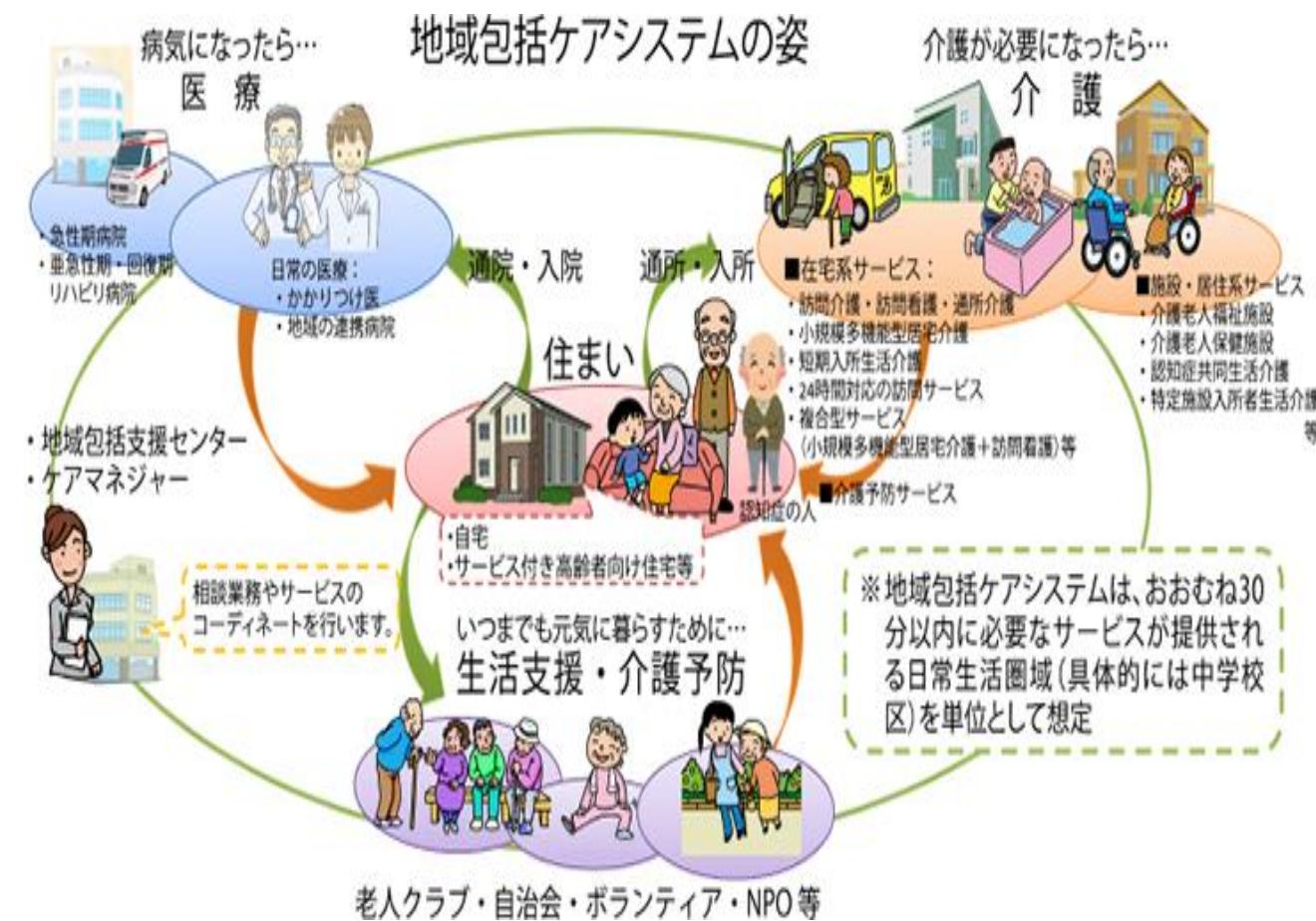
また、障がいのある方が生活しづらい環境であるなどの課題があります。

そこで、理学療法士が現地に赴いて体操指導や、環境整備、助言などを行います。

いざというときに、迅速に活動を展開することができるよう、平時より、行政、関係部署・団体等他の職種との連携体制の構築、人材育成に取り組んでいます。

- ・災害対策研修会
- ・地域ブロックにおける  
災害対策キャラバン

# 地域包括ケアシステム推進委員会



地域包括ケアシステムでは、住み慣れた地域でその人らしく暮らしていくために、医療・介護のみではなく、**介護予防**（通いの場や地域ケア会議等への支援）、地域づくりへの活動支援に理学療法士は関わり、対応できる人材育成に取組んでいます。

- ・推進リーダー（介護予防・地域ケア）導入研修
- ・地域支援事業講習会



# 管理者育成委員会

日本理学療法士協会における、管理者育成制度（協会指定管理者（初級/上級））の人材育成研修の開催。

県内施設管理者での職域間や各地域内における連携の強化、情報の共有に取り組んでいます。

# 支部化検討委員会

現在、県内12ブロックで地域における理学療法士の横つながりや行政の窓口を構築しつつあります。

今後、さらに地域での活動を促進し、士会組織の強化を図るための必要とされる内容について、検討をしていきます。